

「快报 风险消息」は、中国に拠点をお持ちの企業の皆様にお届けするリスク情報誌「中国風險消息」の速報版です。

2020年1月10日

春節休暇における安全管理

今年もまもなく春節休暇を迎えます。事業場においては、休暇明け後に操業をスムーズに再開できるよう、休暇前に防災対策を検討し、個々の安全対策を計画通りに実践することが肝要となります。本稿では防火対策、防犯対策、凍結対策という3つの側面から注意すべきポイントをまとめました。事故の未然防止に向けた安全対策の徹底をお勧めします。

防火対策



冬場は乾燥し火災が発生しやすくなりますが、一部の地区では花火の打ち上げや爆竹を鳴らすことがあります。また、春節休暇中は人員が少なく、監視が不十分であるため火災リスクが高まる傾向にあります。火災リスクに対する防火対策のポイントとしては、以下の項目が挙げられます。

1. 春節休暇中の当直・パトロール計画を立てる。可能であれば、当直は、工場の外周だけでなく建物内部(各重点エリア)を含めてパトロールを行い、記録を残す。
2. 救助の遅れによる損失拡大を防ぐために、突発的事故に対応する災害救助隊の休暇取得状況を確認し、災害救助隊の対応体制を調整する。また、その結果を関係者に周知する。
3. 消防用の予備電源以外の不要な電源の供給を遮断し、専任者が実施結果を確認します。利用を続ける電源がある場合は記録しておく。また、春節休暇中は当直が電源や関連機器設備を点検し記録する。
4. 消防施設やその他設備の定期メンテナンス時に発見した問題は、できるだけ春節休暇前に処理する。修理等できない場合は、臨時的な対応を講じる。また、春節休暇前に当月の月次点検を完了させる。
5. 防火扉及び防火シャッターの開閉状態が法令上の要求に合致しているかどうか、自動閉鎖装置が正常に機能しているかどうか、防火扉の開閉、防火シャッターの昇降を妨害する物がないか点検する。
6. 建物内部の可燃物、特に電気設備の付近に置かれている可燃物を整理整頓する。また、可燃物の保管状況を屋内・屋外問わずに点検し、防火上の安全距離が確保されているかどうか確認する。また、消防火設備に問題がないか確認する。

防犯対策



春節休暇中、事業場には従業員が少ないため、盗難リスクは高まります。下記のチェックポイントを参考に、春節休暇前に安全確認を実施することが望まれます。

1. パソコンなどの会社の重要な財物をキャビネットに入れ、鍵をかけて保管する。
2. 金庫に多額の現金を保管せず、最低限の現金保管に留める。
3. 春節休暇前、事業場内の「換金性」の高い原料、半製品などを対象に棚卸しを実施し数量等の詳細を把握する。また、高額な財物は特定のエリアで保管する。保管場所は、閉鎖的な構造で、出入り口は二つの鍵で施錠され、CCTV で監視されていることが理想的である。
4. 春節休暇中に実施される工事については、書面許可書の事前取得を必須とする。また、工事の施工当日は、警備員が作業員に対して所持品の検査を行う必要がある（入場時と退場時）。
5. 春節休暇前に、赤外線監視システム、CCTV、弱電のセキュリティー設備への検査を行う。故障を見つけた場合は速やかに修理する。
6. 事業場の鍵を家に持ち帰ることを厳禁とし鍵箱に返却、鍵箱の鍵を当直に預ける。また、当直が春節休暇中の鍵の使用状況を記録する。
7. 当直は、特に夜間や早朝などの盗難事故が頻発する時間帯を中心にパトロールを実施する。パトロールが実施できない場合、CCTV を用いて重要な場所、通路を定期的に監視する。

凍結対策



春節休暇期間は1月～2月にかけての寒波到来時期と重なります。多くの工場で消防配管や生産用の給水配管等が凍結して破裂するケースが見られます。配管内の水が凍結して膨張するとともに、プラスチック製や金属製の配管の耐圧能力が低温環境で低下してしまうことが原因です。以下、凍結事故に備えた対策のポイントを紹介します。

1. 屋外または室内の温度が5℃以下の場所に置かれている機械設備、貯水装置、配水管、計器などを対象に凍結防止措置（保温材の設置等）を取る。また、当直は定期的に保温材等の点検を行う。
2. 春節休暇明けの操業に影響を与えない範囲で、機械設備、貯水装置、輸水配管等に残った水分を排出する。
3. 可能であれば、耐圧値の低い配管、計器を耐圧値の高いものに交換する。
4. 可能であれば、機械設備、貯水装置、配水管などに「蒸気加温」または「電気加温」装置を取り付ける。
5. 凍結防止のために、ガソリン、ディーゼル油、潤滑油などを使う機械設備に不凍液を注いでおく。
6. ドアや窓の開閉状況をチェックし、隙間は布などを使って塞ぐ。必要に応じて、室温を氷点下以上に維持するために、室内のエアコンをつけておく。

-
7. 凍結防止措置を取っても凍結事故が発生するおそれのある機器設備、貯水装置、配水管などを対象に、予め倉庫内に交換用の部品を備蓄しておく。また、大規模な損失が生じるような最悪の状況を想定して、早期の復旧を目的とした緊急時対応計画を事前に整備しておく。
-

終わりに

通常稼働時、休暇時のいかに関わらず、安全意識を維持すべきであることは言うまでもありません。休暇中の不注意や油断により生じる事故や損失を防ぐために、上記で示したチェックポイントを参考に休暇前に全社的な点検を行っておくことが望まれます。

皆さまにとって安全で素晴らしい春節となることを、心よりお祈り申し上げます。

以上

執筆: インターリスク上海 諮詢部 副經理 陳 泓

瑛得管理諮詢(上海)は、中国・上海に設立されたMS&ADインシュアランスグループに属するリスクマネジメント会社であり、お客様の工場・倉庫等へのリスク調査や、BCP策定等の各種リスクコンサルティングサービスを提供させて頂いております。お問い合わせ・お申し込み等は、下記の弊社お問い合わせ先までお気軽にお寄せ下さい。

<お問い合わせ先>

瑛得管理諮詢(上海)有限公司 (日本語表記: インターリスク上海)
上海市浦東新区陸家嘴環路 1000 号 恒生銀行大廈 14 楼 23 室
TEL: +86-(0)21-6841-0611 (代表)